

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/06/03号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 一時80ドル台回復も、ボックス相場を踏襲

NY原油先物相場は、1バレル=76~81ドル水準で揉み合う展開になった。週前半は石油輸出国機構（OPEC）プラスの減産延長観測、ドライブシーズンの需要拡大期待を背景に、一時80.62ドルまで上昇した。需給引き締め観測を背景に、5月1日以来の高値を更新している。しかし、週後半は利食い売り優勢の展開になり、77ドル水準まで軟化した。結果的に最近のボックス相場が踏襲されている。

6月2日にOPECプラス会合が開催されるが、Reutersは複数の関係筋の話として、日量220万バレルの自主減産の一部もしくは全部を7~9月期と10~12月期に延長する案、日量366万バレルの協調減産の一部もしくは全部を2025年に延長する案が協議される可能性を報じている。このため、減産による需給引き締め期待が原油相場を一時80ドル台まで押し上げたが、実際にどのような合意内容になるのかを見極めたいとのムードも強く、大きな値動きに発展しなかった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月24日時点）は、原油が前週416万バレル減、ガソリンが202万バレル増、石油精製品が254万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 需給引き締まり見通しで下値固まる、ボックス下限では物色妙味

70ドル台後半でボックス気味の展開が続く中、改めて下値を固める展開になろう。OPECプラスの自主減産が延長され、更にドライブシーズンの需要拡大期待が維持されると、70ドル台中盤での物色妙味は維持され、80ドル台乗せを窺う展開になる見通し。

6月2日にOPECプラス会合が開催されるため、週前半はその結果に依存する。自主減産と協調減産の枠組みが大きな変更なく維持されることが確認されると、買い安心感が強まりやすい。これからドライブシーズンの需要期が本格化する中、減産による需給引き締まりが意識されると値固めから反発を打診する展開が続こう。1カ月にわたってボックス相場が続いているためトレンド形成に抵抗も見受けられるが、ボックス下限付近での物色妙味は維持される見通し。ただし、OPECプラスの減産規模が想定外に大きく引き下げられるような事態になると、75ドル割れのリスクがあることには注意が必要。

季節要因からはドライブシーズンの需要期に入り、製油所稼働率が高水準を維持することが原油在庫の取り崩しを促しやすい環境が続く。改めて需給動向に対する関心が高まる中、在庫取り崩しが確認されると買い安心感が強まろう。ただし、前週は原油在庫の減少よりも石油製品在庫の増加が重視された。原油と同時に石油製品在庫の動向にも注目したい。

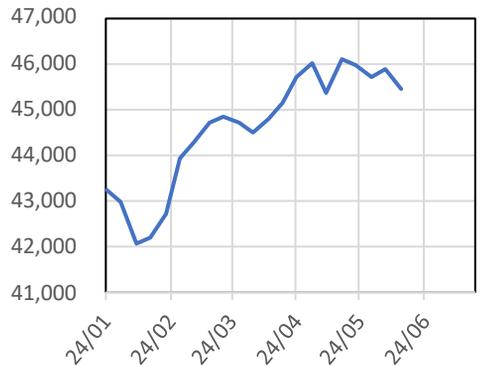
一方、月初は米中で経済指標の発表が集中する。ここで米中経済の減速リスクがクローズアップされるような動きがみられると、需要不安の織り込みにテーマシフトが促され、水準を切り下げるリスクがある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



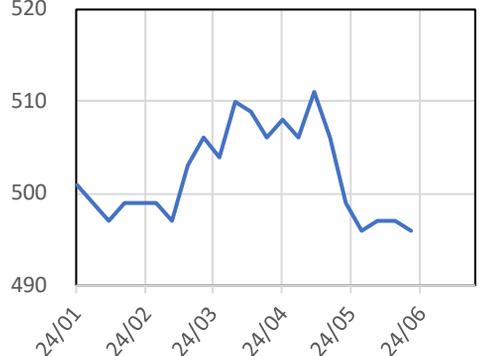
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

